

第7回

1. 日 時 平成16年2月3日(火) 13:30～15:30

2. 場 所 東京都港区虎ノ門4-1-1
虎ノ門パストラル 本館8階 けやきの間

3. 委員の現在数 4 名

4. 出席した委員の数及び氏名

委員長 若杉 敬明

委 員 神作 裕之

委 員 中村 実

委 員 山崎 元

以上 4名 出席

5. 議 題

・平成15年度積立金運用実績(1月末現在) (報告)

・運用基本方針及び計画 (審議)

6. 開 会

事務局から、本日の積立金運用委員会は同規則第4条の規定による定足数を満たしているため、有効に成立している旨の報告があった。

続いて、板倉治成理事長が挨拶を述べた後、経済産業省放射性廃棄物対策室長の山近氏よりご挨拶を頂き、委員長は議事に入った。

7. 議事の概要

井上毅専務理事から、上記5の議題について下記を説明。

・平成15年度積立金運用実績(1月末現在)

平成15年度運用額は、平成14年度積立金受入分(694億円)から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加えた682億円を見込む。

運用内訳は、国債、政府保証債、地方債、事業債とも、ほぼ計画通りの運用を達成できる見通し。

購入債券の平均利回りは、同時期における長期国債平均利回りをやや下

回っている。なお、3ヶ年の運用平均利回りでは、同期間の長期国債平均利回りを上回っている。

・運用基本方針及び計画

運用の基本方針である(1)長期的視野に立ち、安全確実性を重視した運用(2)拠出金の算定となる割引率を目標とした運用収益の確保(3)市場への影響に配慮、の三基本方針に基づき、平成16年度の運用方針及び計画を取り纏めた。

年度の運用評価基準は、長期国債応募者利回りを、当初計画における月別運用計画に基づいて加重平均したものとし、これと購入債券の平均利回りと比較する。

その後、上記 . の議題について審議した結果、了解を得た。

8 . 次回スケジュール

平成16年7月を目途に開催したい。

9 . 閉 会

以上をもって議事全てを終了し、委員長は閉会を宣した。

< 委員会で寄せられた意見 >

・平成15年度積立金運用実績(1月末現在)

平成14年度末に受け入れた積立金については、ほぼ運用計画に沿った運用となっている。一方、購入債券の平均利回りは、同時期における長期国債平均利回りをやや下回っているが、長期国債応募者利回りを運用計画に基づく月々の購入予定額で加重平均したものを上回っており、運用実績としては評価できるのではないかと。

・運用基本方針及び計画

近年、金利が低下傾向にあった局面から、昨年、史上最低の長期金利を記録した後、反転し上昇した局面になったという現象が見られたが、平成1

6年度運用計画策定にあたっては、今後の金融情勢について、当面、年度内において、大きな金利変動の可能性が低いという前提のもと、「信用リスクの高まりに対応した運用」を行うという方針で良いのではないかと。

債券の購入割合については、平成15年度と同様、国債50%、政府保証債15%、地方債15%、事業債20%とすることで良いのではないかと。

受託者責任の観点からは、運用を委託されたら速やかに運用するというのが原則で、待機資金を多く残す場合、受託者責任を問われる可能性もあるのでないかと。

運用の努力目標としては、従来通り「割引率の算定基礎となる長期国債応募者利回り（単年度平均）を上回る運用」を掲げるが、運用結果の評価基準としては、長期国債応募者利回りの単純な月別平均より、同利回りを当初計画における月別運用計画に基づいて加重平均したものとし、これと購入債券の平均利回りと比較することが相応しいのではないかと。

預金運用については、大口定期・譲渡性預金を中心に運用することとするが、昨年度と同様、一つの金融機関への集中を回避することで良いのではないかと。

「事務局」資金管理業務部	TEL: 03 - 5157 - 5850
--------------	-----------------------

(参考)

資金管理業務運用実績

積立金資産構成

(平成16年1月31日現在)

		簿価金額	構成比(簿価)	額面金額	平均クーポン	利回り
		百万円	%	百万円	%	%
債 券	国債	115,619	49.9%	115,300	1.26%	1.22%
	政府保証債	25,520	11.0%	25,641	1.18%	1.24%
	地方債	44,668	19.3%	44,883	1.30%	1.36%
	事業債	45,928	19.8%	46,000	1.35%	1.37%
	債券合計	231,736	100.0%	231,824	1.28%	1.28%
預 金	3,389	-	-	-	0.01%	
運用残高合計	235,126					

百万円未満は切り捨て

利回りは1月31日時点の最終利回り(単利)、平均残存年数は8.18年

地方債・事業債の平均格付け

(平成16年1月31日現在)

地方債 AA+

事業債 AA+

・保有債券の格付けを数値化(注)し、額面金額の加重平均により算出(小数1位四捨五入)

(注) AAA:1、AA+:2、AA:3、AA-:4
格付けが複数ある場合は高位のものを採用